

平成26年度ホタテガイ採苗情報（第8報）

平成26年6月23日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



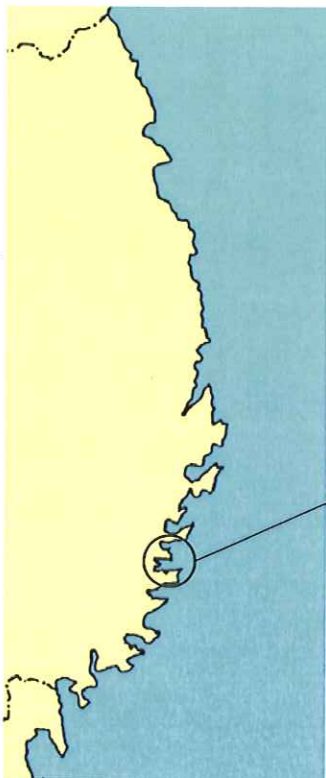
小型ラーバが出現し、大型ラーバや付着稚貝も増加中。

<調査結果の概要>

- 6月23日の唐丹湾の定点調査では水深0m～50mの水温が11～14℃台であり、6月に入り依然としてあまり水温上昇が見られません。また、小型ラーバの数は結構見受けられ、大型ラーバや付着稚貝の数も増加しています。
- なお、定点調査では、ムラサキイガイのラーバや付着稚貝の数が少ない状況にありました。

<宮城県の状況（6月18日発行宮城県ホタテガイ採苗通報）>

- 宮城県も全域で採苗器の投入時期になりました。また、本県同様、水温の上昇がそれほど見られず、小型ラーバが認められ、大型ラーバが増え、付着稚貝も確認されています。



唐丹 6/23 12.5℃
 221個/m²、49個/m²
 6/16～6/27 340個/袋

図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温
 ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

次報は、7月1日に発行する予定です。

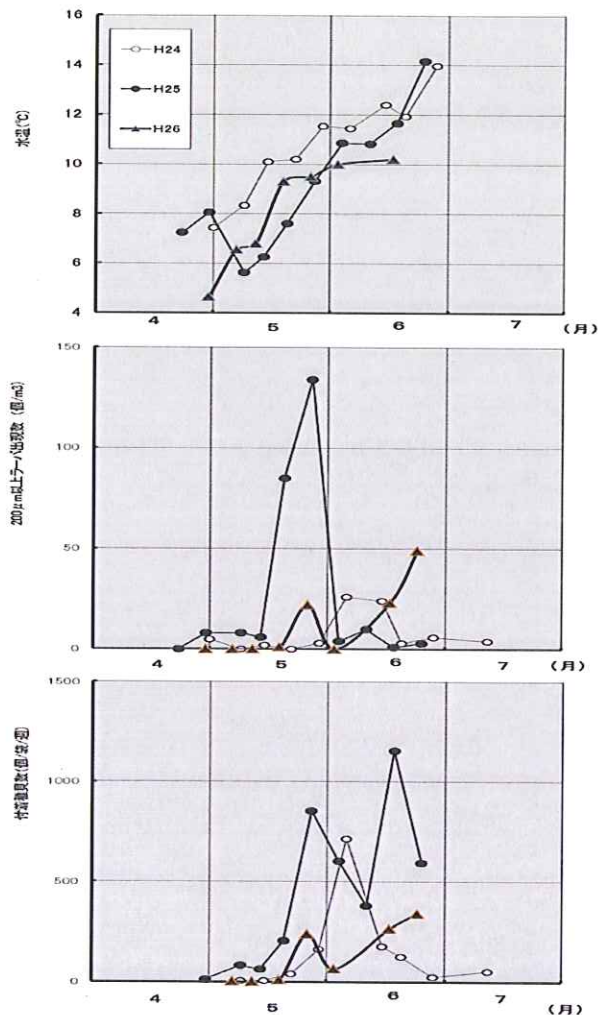


図2 唐丹湾における水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況